

(PC) 教卓 PC 利用状況

1. 概要

教卓 PC とは、教室、貸出以外に常設された PC を指し、シンクライアントの技術を用い、アプリケーション、セキュリティのメンテナンス性、常時稼働を考慮したシステム設計を行っている。

各キャンパスの教室に配備されている教卓 PC の利用状況については以下のとおりである。

2. 利用状況

(1). OS 別起動回数年間推移

① 池袋キャンパス

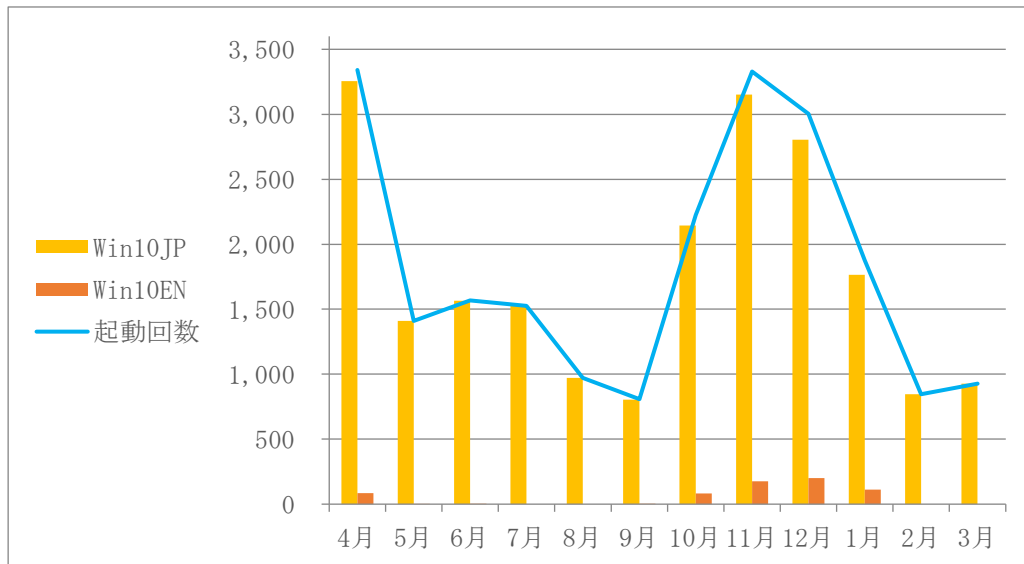


図 1 : OS 別起動回数年間推移 教卓 PC (池袋)

② 新座キャンパス

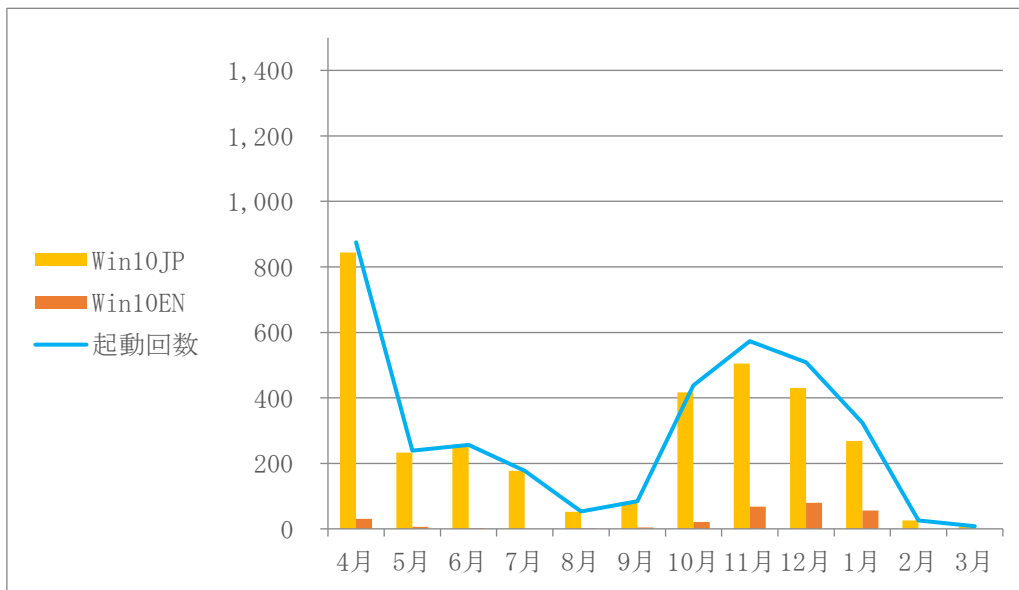


図 2 : OS 別起動回数年間推移 教卓 PC (新座)

(2). キャンパス別平均起動時間年間推移

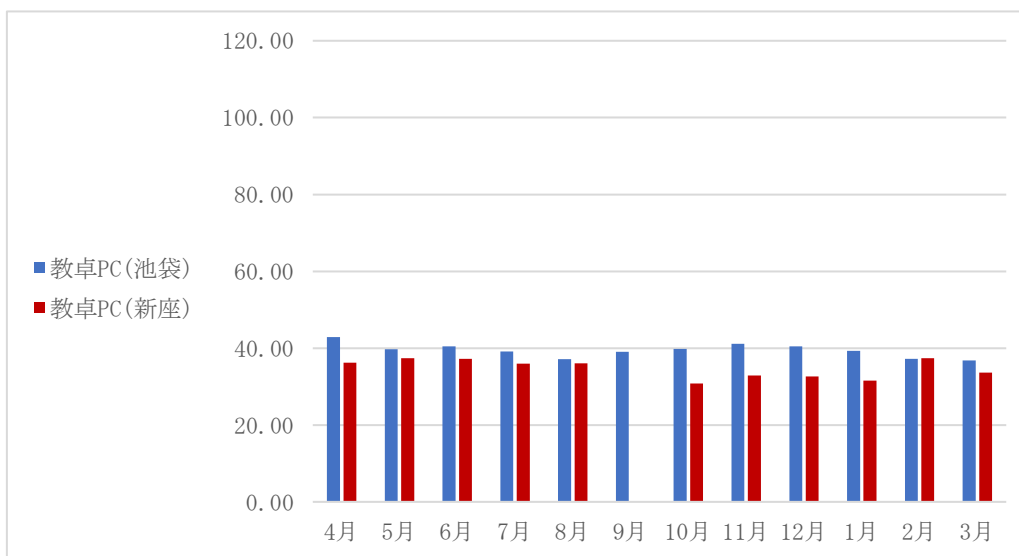


図 3 : キャンパス別平均起動時間年間推移

3. 2021年度のまとめ

入構制限の緩和により、ミックス授業が多くなった関係で前年に比べて大幅に教卓ノートPCの利用が増えた。自身のPCで授業をされる教員が増えてきていることはあるが、共通の設定、必要な環境を揃えた教卓PC環境は今後も快適に安定して動作する必要がある。

今後の課題としては、次期PCの更改にともない、Windows11を利用できる環境を整えることなどがある。利用者の利用状況に極力合った形でのPC環境の整備を行っているが、学内環境への適用として、ハード面、ソフト面とも追いついていないところもある。従来のWindows10での利用環境も残したうえで、Windows11を利用できるようにするなど、リスク軽減をしながら、利用者に使いやすい環境を整えていきたい。